



未来 2018

審査員のご紹介



審査員のご紹介

(順不同・敬称略)



東 博暢

株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 主席研究員 / 融合戦略グループ長
Incubation & Innovation Initiative / 「未来」統括ディレクター

ベンチャー支援や社会企業家育成支援、ソーシャルメディアの立ち上げを経て、2006年日本総合研究所入社。情報通信分野 (ICT) を中心に、PMI、新規事業策定支援、社会実証実験を通じた法制度改正・ガイドライン策定支援等を実施しており、近年ではICT融合領域として、ヘルスケア分野やスマートシティ分野の都市開発支援等のコンサルティング活動を実施している。加えて、政府やSRI international等の海外技術系シンクタンクと連携し、大学・研究機関等を中心にロボット・AI・IoTやバイオ・ライフサイエンス等の科学技術の商業化を推進するオープンイノベーションプログラムを運営し、研究開発型ベンチャー支援や起業家支援に取り組んでいる。更に、株式会社三井住友銀行と共に、日本の成長戦略の基盤となる先進性の高い技術やビジネスアイデアの事業化を支援しイノベーションを推進する異業種連携の事業コンソーシアム「Incubation & Innovation Initiative」を組成し、全体を統括。産業界主導によるオープンイノベーションエコシステムの構築に尽力している。 <http://mirai.ventures/>



太田 洋哉

SMBC ベンチャーキャピタル株式会社 執行役員 投資第一部長

1989年入行。1997年10月よりベンチャーキャピタルへ出向。以後19年間ベンチャー投資に従事。2009年4月大和SMBCキャピタル投資第四部長、2010年7月SMBCベンチャーキャピタルVC投資第三部長、2015年4月より現任。投資担当者として65社に投資を行い20社がIPOを果たす。創業期投資でのIPO事例としては、オイシックス・タリーズコーヒージャパン等。リード案件ではコラボス・ハリュエデザイン等がある。

九州大学法学部卒 青山学院大学専門職大学院国際マネジメント研究科 (MBA)



工藤 禎子

株式会社三井住友銀行 常務執行役員

1987年慶応義塾大学経済学部卒業、住友銀行 (現三井住友銀行) 入行。プロジェクトファイナンス業務に従事し、国内外のインフラ、再エネ、資源、石油化学、テーマパークプロジェクト等に取り組む。2009年より、ストラクチャードファイナンス営業部環境ソリューション室長として、温暖化ガス削減関連ビジネスを推進。2012年、プロジェクトファイナンス営業部部長兼成長産業クラスター室長に就任。部門横断組織として、新エネルギー、資源、環境、AI・ロボット等成長分野における金融ソリューション開発を主導。2014年に執行役員成長産業クラスターユニット長、2017年より常務執行役員に就任。



曽我 弘

株式会社カピオン 代表取締役

新日鉄退社後、1991年-2010年までシリコンバレーに移住。画像圧縮技術開発のベンチャー企業Eidesign Technologies, Inc. を設立、経営。

1996年にSpruce Technologies, Inc. を設立。DVDオーサリングシステムを開発・商品化し、今日のDVD普及の一翼を担う。旗艦商品「DVDMaestro」は最初の顧客がDisneyでハリウッドでのデファクト標準になった。最終的に、同社をAppleへ売却。その後SVJEN (NPO) を設立し、バイオ関連ビジネスや、日米のスタートアップのメンターとして支援活動を行う。2010年末に帰国後、能登左知と(株)カピオンを共同で設立しNEDOと協力してスタートアップ企業支援を行う。

2012年 Blue Jay Energy をシリコンバレーに設立、日本の技術をもとにグローバル大学リーディング大学院で起業講座を担当 (2012~現在)。高校生を対象とした国際起業家育成イベント「GTE®2016 イノベーションチャレンジ」を和歌山市で開催。



北澤 裕司

株式会社三井住友銀行 成長事業開発部長

1989年慶応義塾大学法学部政治学科卒、住友銀行 (現三井住友銀行) 入行。1995年ベンチャーエンタープライズセンターに主任研究員として出向。その後、同行法人業務部や法人マーケティング部を経て、2010年SMBCコンサルティング企画部長に就任。2012年高田馬場法人営業部副部長、2015年豊橋法人営業部長兼支店長を歴任し、2017年から現職。

SMBCベンチャーキャピタル取締役も兼ねる。



松田 一敬

合同会社SARR 代表執行社員

慶応大学経済学部卒業後、山一証券(株)証券引受部を経て、同社ロンドン現地法人にて中東、アフリカ、東欧諸国等を担当する。その後、国内初の地域密着型ベンチャーキャピタルを設立。2000年6月に札幌Biz Cafeを設立、サッポロバレーのITベンチャーを支援。地元IT企業の株式公開に繋げる。

2000年9月、国立大学発ベンチャー第1号(北海道大学発)の設立に関与する等、大学発ベンチャー支援の国内の草分け。製薬企業向けマイルストーン契約の締結等、知財の事業化の実績を積む。

2011年4月に合同会社SARRを設立。起業家教育、ハイテクスタートアップの支援等を行っている。



郷治 友孝

株式会社東京大学エッジキャピタル 代表取締役社長・マネージングパートナー

株式会社東京大学エッジキャピタル(UTEC)代表取締役社長・マネージングパートナー。前職の通商産業省(現経済産業省)にて『投資事業有限責任組合法』(1998年施行)を起草。

2004年(株)東京大学エッジキャピタル(UTEC)創業に参画。投資戦略をシード/アーリーステージにフォーカスするとともに、2015年7月現在までに、3本の投資事業有限責任組合(計約300億円)を設立・運用。

東京大学法学部卒、スタンフォード大学経営学修士(MBA)。日本スタンフォード協会理事、日本ベンチャーキャピタル協会常務理事。



安西 智宏

株式会社ファストトラックイニシアティブ 取締役

生命科学の博士号取得後にアーサー・D・リトル(ジャパン)株式会社に入社し、国内外のバイオ企業の経営コンサルティング活動に従事。

2006年(株)ファストトラックイニシアティブに参画。ファンド運営、投資案件の発掘から企業設立、育成、投資回収までの幅広い業務を担当。他に、東京大学トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ特任准教授を兼任し、京都大学物質-細胞統合システム拠点客員准教授を歴任。

2012年には内閣官房医療イノベーション推進室に室員として在籍。経済産業省「バイオベンチャーと投資家の対話促進研究会」委員、大阪商工会議所事業化アドバイザー(医療機器)。東京大学理学部生物学科卒業。同大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了。



村田 祐介

インキュベイトファンド 代表パートナー

1999年にエンタープライズ系スタートアップに創業参画し開発業務に従事した後、2003年にエヌ・アイ・エフベンチャーズ株式会社(現:大和企業投資株式会社)入社。主にネット系スタートアップの投資業務及びファンド組成管理業務に従事。2010年にインキュベイトファンド設立、代表パートナー就任。メディア・ゲーム関連領域を中心とした投資・インキュベーション活動を行うほか、ファンドマネジメント業務を主幹。



仮屋 蘭 聡一

株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ マネージング・パートナー

株式会社三和総合研究所での経営戦略コンサルティングを経て、1996年、株式会社グロービスのベンチャーキャピタル事業設立に参加。1号ファンド、ファンドマネジャーを経て、1999年エイバックス・グロービス・パートナーズ設立よりパートナー就任、現在に至る。

2015年7月より一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会会長を務める。

慶應義塾大学法学部卒、米国ピッツバーグ大学MBA修了。

著書に、「機関投資家のためのプライベート・エクイティ」(さんざい)、「ケースで学ぶ起業戦略」(日経BP社)、「MBAビジネスプラン」(ダイヤモンド社)、「ベンチャーキャピタリストが語る起業家への提言」(税務研究会)がある。



野内 敦

株式会社オプトベンチャーズ 代表取締役

株式会社オプト(現株式会社オプトホールディング)創業メンバー、取締役。

2006年から全社COO、その後数々の戦略子会社の設立・運営に携わる。

2013年より投資育成事業の責任者として陣頭指揮を執り、出資先への経営指導やビジネスモデル開発を支援し、大きな成果を納める。

現在はオプトベンチャーズ代表取締役を兼務。オプトベンチャーズの投資領域としては、シェアリングエコノミー、ダイレクトトレーディング、ディスラプティブテクノロジーの重点3領域を掲げる。



長谷川 和宏

株式会社リバネス 執行役員 CKO

株式会社リバネス執行役員CKO、合同会社ユージュレナSMBC日興証券リバネスキャピタル業務執行役、株式会社グローカリンク代表取締役。ならびに同社をGPとした次世代科学技術育成ファンド投資委員。NEDO専門カタライザー。

2005年4月にリバネス社に入社。リアルテック分野のシードアクセラレーションプログラム「TechPlanter」を立ち上げ、新規事業創出や産学連携事業などを行う。2012年より投資育成事業を行う株式会社グローカリンクの代表取締役に就任。

2015年より合同会社ユージュレナSMBC日興リバネスキャピタルの業務執行役兼キャピタリストとして、主にシード・アーリーステージのテクノロジーベンチャー企業の支援を行なっている。

また、墨田区の町工場3500社を訪問し、多数の町工場ネットワークも有するなど、試作・量産化の支援なども実施。



百合本 安彦

グローバル・ブレイン株式会社 代表取締役社長

京都大学法学部卒業。富士銀行(現みずほ銀行)、シティバンク・エヌ・エイ

バイスプレジデントを経て、1998年に当社を創業し、代表取締役社長に就任、現在に至る。

日本国内のベンチャー企業支援だけでなく、シンガポール国立大学(NUS)Enterprise Global Mentorを務めるなど、シンガポール政府機関、東南アジアの各大学、メディア、VC、ベンチャー企業等と強いネットワークを保有し、投資先企業の東南アジア進出を徹底的に支援している。

- ・株式会社トライステージ(2178)社外監査役
- ・その他出資先の社外取締役、社外監査役を兼任
- ・経済産業省 新事業創出支援関係者会議委員



善光 洋文

三井化学株式会社 次世代事業開発室長

1991年京都大学工学研究科高分子化学専攻修士課程修了後、三井東圧化学(現、三井化学)に入社。自動車用材料開発、精密射出成型、電子・情報材料用フィルムのプロセス開発を担当。

2002年成形加工学会青木固技術賞を受賞。

2009年より三井化学ファブロ(現三井化学東セロ)にて産業用・食品用フィルム・シートの開発に従事。

2016年三井化学東セロ新事業開発室長を経て、2017年三井化学次世代事業開発室長として新事業の創出を担当。

専門はポリマーレオロジーおよびポリマー加工プロセスエンジニアリング。



平田 幹人

日本電気株式会社 技術イノベーション戦略本部 主席主幹

京都大学大学院情報工学専攻を卒業後、NECに入社。大規模システム開発、自然言語処理ソフトウェア開発、インターネットサービス企画に従事後、1996年にシリコンバレーに出向し、CVC活動に関わり、ベンチャーとの連携を推進。

2001年に帰任後、経営企画部にてM&A及びVCとの連携、さらにEコマース事業、マーケティング、全社戦略投資の運用、研究企画などに携わり、2008年から3年間、プリンストンの北米研究所に出向し、研究成果の事業化に従事。

その後、パーソナル向けの新事業企画、事業売却に携わった後、2014年から事業イノベーション戦略本部にて、2017年からは技術イノベーション戦略本部にて、北米経験を踏まえ、国内外のVC、ベンチャーとの連携・出資など、コーポレートベンチャリング活動に取り組んでいる。



菊池 隆裕

日経 BP 総研 イノベーションICT研究所 上席研究員

1990年日経BP社入社。『日経コミュニケーション』『日経エレクトロニクス』『日経コンピュータ』『ITpro』などで、主に通信、ネット分野を担当。

2002年～2004年までシリコンバレー支局勤務。

2015年、経済産業省主催イノベーター育成プログラム『始動 Next Innovator 2015』に選抜、新規事業メンター向けプログラム「Lean Launchpad Educators Program」修了。



小川 剛

クールジャパン機構(株)海外需要開拓支援機構)投資戦略グループ シニアディレクター

日本生命保険相互会社にて営業・人事・株式投資業務、SI大手インテックにて企画室長、ドリームインキュベータにて経営コンサル、ネットエイジ/ngi groupにて新規事業担当執行役、3D仮想空間コンテンツ制作/ソフト開発ベンチャーの3Di株式会社を創業し社長。

その後ベンチャーキャピタルの伊藤忠テクノロジーベンチャーズのパートナーを経て、2014年1月より現職。Tokyo Otaku Mode社の社外取締役を兼務。1991年九州大学経済学部卒。

IIIメンバー設定テーマ

企業賞

IIIメンバー等各社から「企業賞」を付与します。

三井住友海上火災保険株式会社

設定テーマ1 重症化予防(生活習慣病対策)

生活習慣病について、重症化を予防することで人びとの健康維持・向上を応援するビジネスアイデアを募集します。

三井住友海上
重症化予防賞

受賞特典

実証実験の実施に向けた当社との定期検討会の開催(定期検討会の開催期間は3ヶ月程度を目途とします。)

設定テーマ2 健康経営

企業が従業員の健康に配慮することによって、業績の向上を目指す「健康経営」をサポートするビジネスアイデアを募集します。

三井住友海上
健康経営賞

受賞特典

実証実験の実施に向けた当社との定期検討会の開催(定期検討会の開催期間は3ヶ月程度を目途とします。)

設定テーマ3 ブロックチェーン

ブロックチェーン技術等を活用し、格段に利便性の高いサービスを提供するビジネスアイデアを募集します。

三井住友海上
ブロックチェーン賞

受賞特典

実証実験の実施に向けた当社との定期検討会の開催(定期検討会の開催期間は3ヶ月程度を目途とします。)

設定テーマ4 交通事故の予防

居眠り・飲酒運転事故、高齢ドライバーの事故、交通弱者の被害事故など交通事故の予防に資するビジネスアイデアを募集します。

三井住友海上
交通事故予防賞

受賞特典

実証実験の実施に向けた当社との定期検討会の開催(定期検討会の開催期間は3ヶ月程度を目途とします。)

設定テーマ5 シェアリングサービス

欧米で普及が進むシェアリングサービスについてビジネスアイデアを募集します。

三井住友海上
シェアリングサービス賞

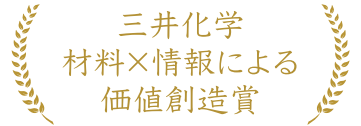
受賞特典

実証実験の実施に向けた当社との定期検討会の開催(定期検討会の開催期間は3ヶ月程度を目途とします。)

三井化学株式会社

設定テーマ 材料 × 情報で社会課題を解決する

材料だけでも情報だけでもない、2つが融合することにより初めて実現できる先端診断技術や計測・予測技術を活かしたビジネスアイデアを募集します。



受賞特典

実証実験の実施に向けた当社との定期検討会の開催（定期検討会の開催期間は3ヶ月程度を目途とします。）

日経 BP 総研

設定テーマ1 次世代情報流通

情報の流通・分析・共有・活用の進化を加速するビジネスアイデアを募集します。



受賞特典

- ①日経 BP 総研のイベントにてビジネスアイデアの発表機会提供
- ②日経 BP 社の事業との連携を検討

設定テーマ2 人手不足解決

深刻化する人手不足を解消するアイデアを募集します。
特に、効率的な人材育成を組み合わせたものを高く評価します。



受賞特典

- ①日経 BP 総研のイベントにてビジネスアイデアの発表機会提供
- ②日経 BP 社の事業との連携を検討

中部電力株式会社

設定テーマ 街の活性化・スマート化

中部電力は、電柱上に ICT 機器を設置し、街の活性化・スマート化につながる新たな地域サービスを提供するスマートポールプロジェクトを推進しています。
暮らしに必要な機能が効率的・有機的に連携した生活基盤を実現するビジネスアイデアを募集します。



受賞特典

実証実験や事業連携に向けた当社との検討会の開催

株式会社日本総合研究所

分野・テーマ問わず、社会に大きなインパクトを与える提案に対し授与します。



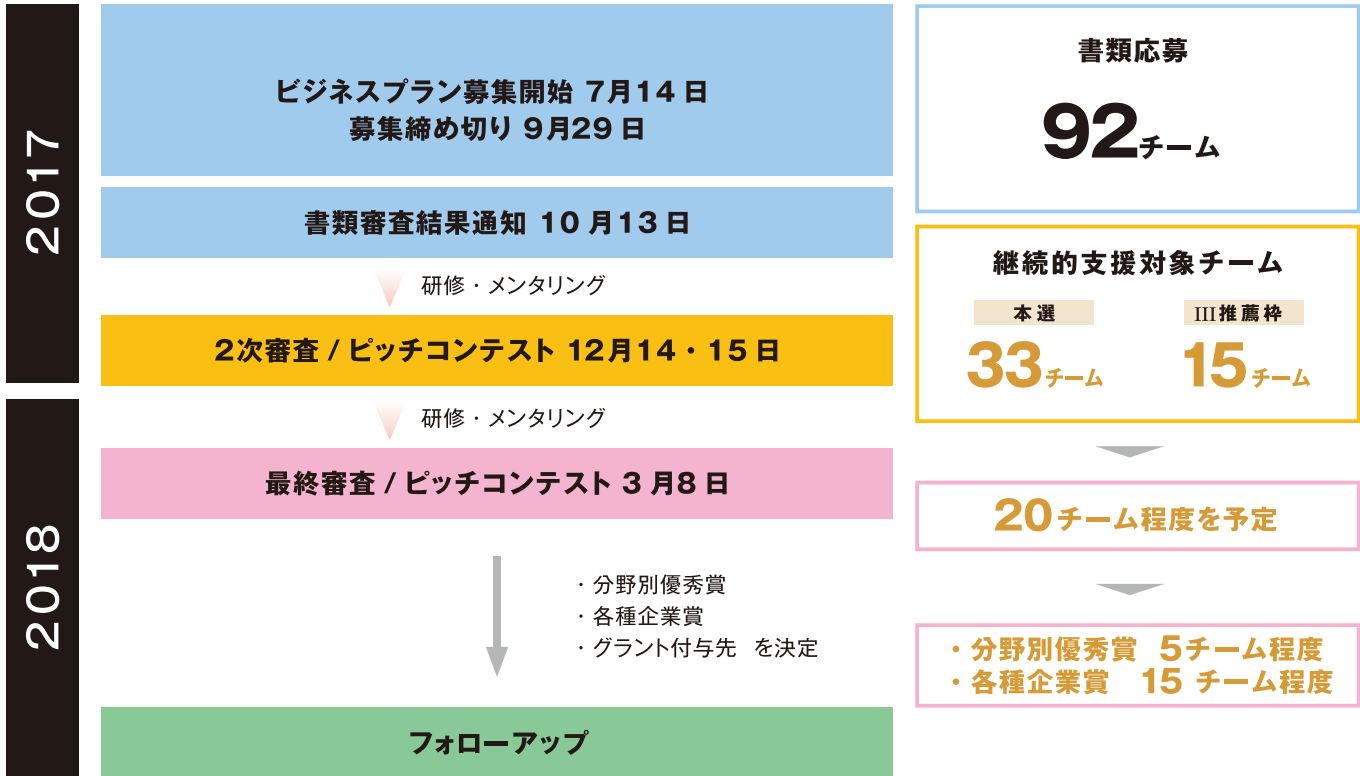
受賞特典

事業開発コンサルティングの提供（期間は検討中）

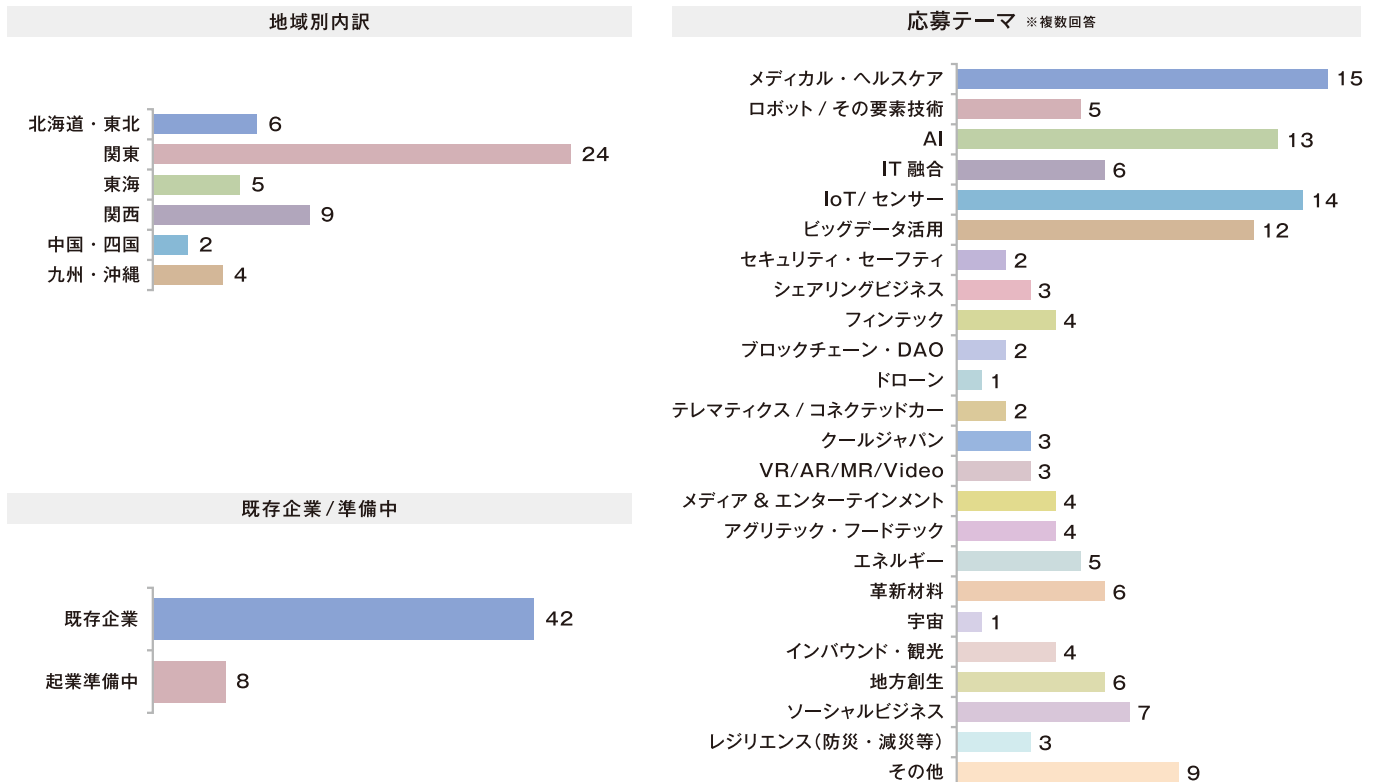
未来2018 これまでの流れ

未来2018 のスケジュールおよび選抜状況、二次審査出場チームの傾向をご紹介します。

未来2018 全体スケジュールおよび選抜状況



二次審査会出場チームの傾向





*Incubation &
Innovation
Initiative*